



タイキ株式会社

東京都墨田区向島4-20-10
T. 03-3623-1161
<https://www.taikijapan.jp/>



【設立】1966年
【資本金】3,150万円
【代表者】代表取締役 川口茂樹
【従業員】36人
【シニア雇用数】8人

interview with 雇用した企業

Q1 どんな会社？

ゴム・スポンジの加工業

メインの事業は、自動車のランプに内装されているゴム・スポンジの加工です。防水や緩衝の用途に使われています。

他にも、キッチンのレンジフードなどの厨房関係や、建築・土木部材に内装されているゴムやスポンジの成形・加工を行っています。

東京本社の営業部隊と連携し、製造工場と甲府事業所に生産ラインを構え、独自の加工技術で高品質の製品を提供しています。

取締役 総務部長兼経理部長

河野 泰士さん



Q2 なぜシニア雇用を？

工場長のポストを担う人を探して

今回の雇用にあたっては、製造工場の工場長をしていた前任者が辞めてしまって、ポストが空いていたんです。工場長の経験があって、無理なく通勤できるエリアに住んでいる人という条件で探していました。

求める人材としては、まず原材料をどれくらい仕入れたらよいかという生産管理、いつまでに出荷するかという納期管理、そして当社が長年培ってきた技術を理解できて、品質管理を担える人。



製造工場

それから、工場で働く10人は年齢がバラバラなのですが、彼らをうまくまとめて人員の回し方などをコントロールしてくれる人、さらに本社の営業とのやりとりも多いので、その連絡調整も行える人ということで、経験豊富なシニアが最適と考えていました。

Q3 シニア雇用のメリットは？

費用対効果

当社は6、7年前から、東京キャリア・トラアル65からの紹介で何人かシニアを雇用しています。ISOの環境の専任者や、品質管理の担当者、営業全体のマネジメント担当などで力を発揮してもらっています。

大きなメリットは、高い能力がある人を探れるということですね。費用対効果を考えて、欲しい人材を受け入れることが可能なので、よいシステムだと思います。

シニアの強みは、長い経験に裏付けられた仕事の質と手堅い手法です。社員のお手本になっている上、何より若い社員を指導してもらえるのが会社にとってはメリットです。

それから、いろいろな助成金や補助金の申請の経験がある方も多いので、非常に助かっています。

Q4 配慮していることは？

勤務日数は希望を優先

現在、シニアの方が8人いますが、何日勤務するかというのは本人の希望を重視しています。週に3日か4日の人が多いですね。テレワークで勤務している人もいます。

それぞれの体力や年齢、健康状態を考慮して、希望に沿えるようにしています。

interview with 雇用されたシニア



製造工場 工場長
猪俣 正典さん

経歴

自動車製造会社で工場の責任者を務める。定年後はゼネコンや通信会社などで勤務。2023年11月より現職。「東京キャリア・トライアル65」を利用。（事業詳細はP.48参照）

Q1 再就職しようと思った理由は？

社会と関わりを持つ

仕事を辞めてブラブラしていたのですが、家で寝ていてもつまらないんですね。暇でしようがなくなって、やっぱり社会とつながっていたいと思いました。起きる時間が遅くなるとだんだん家族に邪魔にされるしね。

それでエージェントに頼んである会社に入っ

たのですが、仕事が現役並みにキツかったんです。週5日毎日8時9時から、仕事の密度も濃くて、ちょっと体力的に無理を感じたので4ヶ月で辞めました。

そんな時にこちらの会社の紹介があって、うまくマッチングしたという経緯です。

Q2 どんな仕事をしている？

製造工場のマネジメント

社長から工場長を探していると言われてお受けしました。

マネジメントの経験はあるので、最初から特に不安はないのですが、新しく人間関係を構築したり、この会社の仕事の仕方を学んだりしているところです。

実際世の中に使われる製品を出しているという充実感がありますね。やる以上はできるだけ会社の利益に貢献できるようにしていきたいです。きちんと成果を出さないとと思っています。



製造工場

Q3 シニアが働きやすい環境とは？

労働時間が短いこと

経験上、70歳近くになる人間が毎日フルタイムで働くというのは負荷が大きいと感じています。同年代の仲間を見ても、そういう働き方は少なくなってきましたから、やはり週3日か4日くらいがいいのかなと。

自分の身体と相談することが大切ですね。

Q4 働きたいシニアへ

無理のない範囲で

もう現役の時ほど体力的にも無理もきかないので、あまり背伸びをせず、だんだん負荷を下げながら仕事をするのは大事なかなと思います。

そうした上で体力と機会があれば、働くことはいいですね。僕は75歳までは働きたいと思っています。



会社顧問

同じく「東京キャリア・トライアル65」の紹介でこちらの会社に再就職した会社顧問。現役時代に培った分析のスキルを役立たせています。

会社に入り、自分の経験から何が貢献できるかと考えた時、最初に会社の状況分析をやらせていただきました。

まずは月例会議の中身を見て、運営の仕方やアジェンダの作り方などに改善の余地があったので、提案を行いました。営業部の月例会議については甲府事業所のメンバーも巻き込んで再スタートし、それぞれのプロジェクトがどう動いているとか、課題を認識し合いながら改善していくという取り組みを続けています。

また、工場を含めて全体が参加する生産会議も月に1回行って、その両方を企画運営しています。

生産会議では、営業部で作った方針が工場にも共有されて、生産のコスト意識が出てきたと思います。横とのコミュニケーションが密になった感覚はありますね。

さらに、組織をうまく回すためのタスク分析も行いました。それぞれの持ち場の役回りをはっきりしてきたし、営業としての動き方も変わってきたのではないかなと思っています。